

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	01	02	0410	地域医療ビジョン推進事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-6	健康づくりの推進			
	施策	3	地域医療の充実			
目的	医療供給体制の確保					
対象	医療を必要とする市民					
意図	地域医療に従事する医師を確保することにより、市民は安心して診療を受けることができる					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="radio"/> 病診連携推進 ・病診連携の普及啓発 <input type="radio"/> 医療従事者確保 ・市町村の医師養成にかかる負担金事業に拠出するなどの取り組みを実施						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①			計画			
			実績			
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	かかりつけ医を持っている市民の割合	%	目標	73.0	74.0	
			実績	71.2	71.5	
②	かかりつけ歯科医を持っている市民の割合	%	目標	73.0	74.0	
			実績	72.2	72.3	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
【成果指標の設定根拠】 市民が将来にわたって安心して暮らしていける質の高い医療供給体制の構築にあたっては、地域の限られた医療資源の効率的な活用が前提となる。 「かかりつけ医」及び「かかりつけ歯科医」を持つ市民の割合は、概ね目標値どおりの水準を維持しており、「病診連携」に対する市民の意識が広まりつつあるといえる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市民が将来にわたって安心して暮らしていける質の高い医療供給体制の確保を図るためには、市の主体的な関与が必要である
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	病診連携の普及・推進を図るためには、市民に対して広報やホームページ等を利用した周知を図っていく必要がある
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	当該事業は「花巻市の地域医療ビジョン」に掲げる施策を推進するものであり、職員が関わるのは負担金拠出事務、関係機関との協議や連絡調整等が主な業務であるため、外部への委託は馴染まない
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民が将来にわたって安心して暮らしていける質の高い医療供給体制の確保が目的であり、医療は誰でも必要であることから、受益者は特定の市民ではなく受益機会は均等である
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
地域医療ビジョンに掲げる施策を推進することにより、市民が将来にわたって安心して暮らしていける質の高い医療供給体制を構築することができる。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 健康福祉部 課名 地域医療対策室 担当係長 吉川 孝明 内線 523

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	02	0410	地域医療ビジョン推進事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			5,647		5,647
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		5,647		5,647

事業期間 ○ 単年度繰返 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部経営方針における目標

健康づくりへの支援と地域医療を充実し健康づくりを推進します

事業開始の背景・経緯

市民がいつでも安心して医療を受けられる環境の確保のために「花巻市の地域医療ビジョン」を策定し、これに掲げる施策を推進するために本事業を導入した。

事業概要

- 病診連携推進
 - ・ 病診連携の普及啓発
- 医療従事者確保
 - ・ 市町村の医師養成にかかる負担金事業に抛出するなどの取り組みを実施

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

市民が将来にわたって安心して暮らしていける質の高い医療供給体制の構築にあたっては、「花巻市の地域医療ビジョン」が掲げる取り組み方針のもと、必要な施策を更に検討していく。

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

地域医療ビジョン推進事業：

将来の医療供給体制を確保するため、地域医療ビジョンに掲げる施策を推進する

○ 病診連携推進 (143千円)

- ・ 病診連携の普及啓発

○ 医療従事者確保 (5,504千円)

- ・ 岩手県国民健康保険団体連合会が運営する市町村医師養成事業に係る市町村負担

《市町村医師養成事業》

- ・ 将来、県内の公立病院等の医師として業務に従事しようとする者を対象に実施する修学資金貸付事業を県と市町村が共同で実施。総事業費については県と市町村が1/2ずつ負担する。
- ・ 各市町村の負担額は、人口割で算出。
- ・ 本事業の定員は15名、一時金は7名。
- ・ 貸付額は月額200千円(最大6年)、一時金は7,600千円。義務履行期間は貸付期間と同じ。

《市町村医師養成事業の流れ》

